

近江の石工

令和 8 年 2 月発行
発 行
滋賀県石材組合連合会
広報委員会

会 長 挨 拶

滋賀県石材組合連合会会長 岡島 義孝



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年を迎えられたこと心よりお慶び申し上げます。旧年中は会員の皆様には当連合会の活動に対しまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。昨年は、景気は緩やかな回復傾向と言われてはいたものの不透明な要素も多く、私たち石材業界を取り巻く環境も大きな変化の流れとともに依然として厳しい状況が続いています。墓じまいの増加や原材料費、輸送費の高騰など避けては通れない課題も多くあります。しかし、こうした変革の時代だからこそ、私たち石材業界が守り続けてきた「確かな技術」や「先祖を敬う心」は一層重要になってくるのではないかと感じております。

当連合会は、おかげさまで今年設立 50 周年を迎えます。これまで関わってこられた先輩方、ご協力いただいた関係者の皆様には心より感謝を申し上げます。記念事業として「伝統的の石工道具を使用した石材加工の記録」を残す事業を昨年から取り組んできました。滋賀県立琵琶湖博物館に明治から昭和にかけて近江国小松で活躍した名工「西村嘉兵衛」が使用した石工道具や北比良の石工の親方だった比良岡家の石工道具が多数収蔵されています。これらは貴重な民族文化資料として有形文化財にしていされています。一昨年、この石工道具を当連合会の研修事業として見学させていただいた折に、石材加工の動画や石材サンプルがあれば、これらの石工道具を通して石文化をさらに詳しく伝えることができるのではないかと考え、琵琶湖博物館にお話、取り組んできたものです。

サンプル石材制作は研修事業として取り組みました。会員と青年部員で手分けして「小割り」から「小タタキ」までの各工程のサンプルを手加工で制作しています。動画制作は「ふいごによる鍛冶作業」に始まり「小タタキ加工」までを撮影、編集しました。石工は兼子裕司副会長にお願いし、5 日間にわたる撮影を行っていただきました。この事業に対して石材の提供、作業場所の提供等でご協力いただいた会員の皆様には心より感謝申し上げます。仕上がったサンプル石材と動画は滋賀県立琵琶湖博物館に寄贈させていただきました。また、動画はYouTubeにもアップする予定です。

この事業を通して改めて伝統的な加工作業に接し、今後に活かせる知見が得られればと「温故知新」をテーマとしています。

今年 2 月 17 日には 50 周年記念式典を草津市において開催いたします。青年部設立 45 周年式典と同時開催となります。当日は会員全員で取り組み、お越しいただいた皆様には楽しんでいただきたいと思いますと考えております。

また、50 周年記念誌発行にあたり多くの皆様からご協賛を賜りました。この紙面をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

この事業を通じて会員の団結をより深め、厳しい情勢ではありますが皆が知恵を出し合い次世代に残せる業界団体にできればと思います。新しい年を迎え、会員の皆様、業界の皆様にとって健康で幸多き年となりますことをお祈り申し上げます。

研修事業

研修委員長 徳田 美喜男

今年度の研修事業は、50周年記念事業「伝統的石工工具による石材加工の記録」の中の石材サンプル制作を研修事業として取り組みました。

工程としては、豆矢による小割り、コヤスケによる荒おとし、ハツリ、ムシリ、6枚ビシャン、8枚ビシャン、小タタキの7種類のサンプルを手加工により制作しました。

石材は比良山麓産の御影石を平出石材工業（有）から提供いただき、11月4日（火）、11月18日（火）の二日間、平出石材工業（有）土場に会員が集まり上記工程のサンプルをそれぞれ手分けして加工作業を来ないました。

普段はほとんどやらない手加工の作業ですが、それぞれが黙々と、時には青年部メンバーに指導しながらの作業となりました。1.5尺角ほどのスラブ原石でしたが2日間とそれぞれが持ち帰っての作業で、

各工程の綺麗な仕上がりになりました。2面加工して、その他の面を切削加工し、最終的には持ちやすいものが良いであろうと、1尺角×4寸厚に仕上げました。最後の切削加工と持ち手加工は兼子裕司副会長にお願いいたしました。

出来上がった石材は、令和8年1月8日（木）に滋賀県立琵琶湖博物館にき寄贈されました。

この事業を通して久しぶりに皆で伝統的加工作業に携わることができ、また世代間の交流にもなりました。古いものを改めて見つめ直し、技術を継承していくことが引いては業界全体の発展にも繋がるのではと感じます。事業テーマの「温故知新」を実践できた事業になったと思います。ご参加いただき、ご協力いただいた会員の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



無縁塚清掃及び無縁仏石法要

福利厚生委員長 小山 秀人

例年の事業となりますが、10月7日(火)に無縁塚の清掃作業と法要を平出石材工業(有)様丁場跡において行い当日は15名の参加をいただきありがとうございました。今年も、かなり暑い夏になりましたが当日はすごしやすい気温となり、また昨年と同様前もって草刈をして頂いたおかげでスムーズに清掃作業を終えることが出来ま

した。

清掃作業後、宝篋印塔前において、無縁仏石法要が執り行われました。参加者一人一人がご焼香の上、手を合わせ法要を終えることが出来ました。

まだまだ増えていく「墓じまい」でありますので今後とも、会員の皆様のご協力よろしくお願い致します。



6月17日にも無縁塚整備を行いました。



令和 7 年度 青年部活動報告

青年部部長 野崎 進伍

本年度、滋賀県石材組合連合会青年部は第45回総会を開催し、部員減少という課題に対応するため、青年部の規約にある年齢を40歳から45歳まで引き上げる規約改正を行いました。より多くの部員が活動に参画できる体制を整えることで、組織の維持と活性化を図っています。

近畿地区交流会は開催について以前より話し合いはしていましたが、担当青年部の負担がとて大きくなって来た事などにより、交流会の在り方を見直すこととなりました。無くすわけではなく各青年部で

事業案内などをして、青年部の負担を減らそうという考えです。

内部活動としては委員会を3回開催し、事業の進捗確認や今後の方針について協議を行いました。さらに、例年実施している無縁塚整備事業を本年度も3回実施しました。

滋賀県石材組合連合会50周年記念式典に向けての記念事業にも青年部を委員に組んでいただき多岐にわたる会議を行い、石工の歴史を知っていただく為のお手伝いもさせていただきました。

今後も青年部一丸となって、業界と地域に貢献する活動を継続してまいります。以上青年部の活動報告とさせていただきます。

